

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	県央福祉会	代表者	村山 裕子	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人は、高齢者福祉施設・障がい者福祉施設・保育園など幅広い分野を運営している。</li> <li>・事業所は、家庭的な雰囲気の中で、利用者が自発的に行動し、楽しみのある生活を送れるよう、見守り、寄り添い、介護支援を行なっている。</li> <li>・地域との交流を大切に、地域行事、施設行事など相互に参加する機会を持ち、また、認知症介護の拠点となるよう、講師派遣や、体験学習受入など行う体制となっている。</li> </ul>
事業所名	ライフケア花みずき	管理者	勝又 伸一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者・家族アンケートの時期に、職員に関するアンケート（学びたい事、業務改善等）を同時に行い、意見や希望を確認する。	利用者・家族アンケートと同時に職員アンケートは行わず、職員の自己評価時に業務改善・学びシートを配布、チェックしてもらい、職員個々の学びたい点、よくわからない点を確認することができた。	職員個人の改善点、学びたい点は確認できたが、利用者家族とのコメントのやり取り、日常的な思いのくみ取りなどの連携が不十分と感じる部分がある。	利用者・家族アンケートの継続実施。更に家族との情報共有のツールである療養手帳には、事業者側から積極的にコメントを記入し、情報の発信に努めると共に、送迎時等にも積極的に話す機会を設け、家族との連携を深め、思いを聞き出せるよう努める。職員の意向の聞き取りの継続をし、資質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	年間行事計画に沿った行事を実行していく中で、利用者の反応やリピート希望、利用者・家族アンケートの意見等考慮して、行事を絞り込んでいく。	感染症対策のため、実行できた行事は減少しているが、その中でも企画した行事がより楽しめる内容となるよう行事委員会が中心となり、取り組んだ。	行事委員会を中心に、各職員のアイデア、工夫により、内容の充実した行事が行われている。行事だけでなく、壁面も工夫され、色鮮やかで楽しめる壁面となっている。	感染症対策を行った上で、安心、安全に楽しめる行事を工夫して行うと共に、壁面装飾を工夫し、施設内でも季節を感じ、楽しく過ごせるよう努める。また、感染症対策に配慮した机の配置やしつらえと共に、落ち着ける空間を提供していく。
C. 事業所と地域のかかわり	広報の枚数を増やし、公民館により多く便りを設置してもらったり、認知症カフェ会場で、チラシを配布するなど、広報活動を増やす。	公民館への便り配布枚数を5枚から10枚に増やしたり、新規利用者を紹介いただいた事業所に、速やかに毎月発行お便りの配布リストに加え、周知範囲を広げた。	広報を配布しているが、認知症カフェ等周知度は上がっているとは言えない状況である。地域からの相談ケースが多い、地域包括も含めて、周知活動範囲を広めていく。	事業所便りとカフェ紹介同時配布の継続と、効果的な配置場所の検討を行う。また、地域包括センターとの更なる連携に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを	センター方式を用いた利用者アセスメントを行い、本人や家族か	新規利用者のは、契約時にセンター方式の用紙を配布し、家族から	新規利用者以外の、アセスメント様式が定まっていないため、フェ	しっかりアセスメントを行い、利用者の思いをくみ取れるよう努

支える取組み	らも情報収集を行い、本人にとっての、なじみの地域に出向ける支援を行う。	情報収集を行い、利用開始時には、利用者のなじみの場所等職員は情報共有ができています。	イスシート、課題分析表、センター方式をセットで、アセスメント一式としていく。	め、感染対策を行った上で、地域に出向けるよう工夫する。また、認知症カフェの普及に努め、地域の方が気軽に参加できるカフェを企画する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議案内で、地域の課題や、施設の在り方、施設に対する希望など、考えてきていただくよう発信して、次回運営推進会議内で意見交換し易い形を作る。	運営推進会議内で、地域の行事や課題等に触れる時間を設けている。ちょっとした発言でも、意図をくみ取り、話題を広げ、更なる意見を発信していただくよう配慮した。	運営推進会議のメンバーの発言をきっかけに、地域の見守りや介護の見直し、取り組みが実践されていくと思われる。意見を引き出す雰囲気作りができていない。	事務局側は、運営推進会議時に検討頂きたい内容を予め考え、話題提供できるよう努める。また、誰でも発言しやすいよう、豊富な話題の提供に努める。
F. 事業所の 防災・災害対策	火災時避難訓練とは別に、設備確認、設置・発電機始動などの訓練を計画、実施する。	業務改善、学びシートを記入してもらったことで、設備や防災に不安を感じている職員が多数いることがわかった。	設備や防災に関する意識は確認できた。地域から、事業所に求められる、地域住民に対する災害時の事業所の役割、対応を整理しておく必要がある。	防災教育時にテント設置、発電機稼働内容を盛り込み、実践する。研修に、設備確認・操作研修を設ける。感染対策を含めた災害時要援護者の受け入れマニュアル整備を行う。